

1. 研究課題名

乳房再建術後乳癌患者における乳房全切除術後放射線療法の有効性と安全性に関する観察研究（多機関共同研究）—日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会班研究—

2. 試料・情報

（1）利用目的

乳房全切除術および乳房再建術は標準的な乳がん手術方法ですが、再発リスクが高い患者さんには乳房全切除術後放射線療法が実施されることがあります。乳房再建術後の放射線療法は、合併症の増加と整容性の悪化が懸念されますが、まだ十分には検討されていません。この研究の目的は、乳房再建術後に行う放射線療法の有効性と安全性を検討することです。

研究期間は承認日から2025年12月までです。

（2）利用項目、提供方法

本研究は、2008年1月から2018年12月の間に、日本赤十字社医療センター乳癌外科および共同研究機関で乳房再建術を受けられた乳がん患者さんを対象としています。利用する情報は、年齢、身長、体重、既往歴、治療情報、病理検査情報、予後情報などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

本研究は多機関共同研究（研究代表者：関 大仁 所属：杏林大学医学部）であり、当センター（院長 中島淳）は杏林大学（研究代表者：関 大仁）に、診療記録から得られた情報を提供します。その際、個人を識別できる情報は削除いたします。

ただし、当センターでは個人情報に十分な配慮をしたうえで、誰の情報を提供したのか、後からでもわかるように管理をいたします。提供を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

（3）利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 乳癌外科 荻谷 朗子（研究責任者）

滋賀県立総合病院 乳癌外科 辻 和香子

大阪国際がんセンター 乳癌内分泌外科 渡邊 法之

広島大学病院 乳癌外科 笹田 伸介

がん・感染症センター都立駒込病院 乳房再建外科 富田 祥一

聖マリアンナ医科大学・川崎市立多摩病院 乳癌・内分泌外科 志茂 彩華

聖路加国際病院 乳癌外科 名倉 直美

東京慈恵会医科大学 乳癌内分泌外科 野木 裕子

岡山大学病院 乳癌・内分泌外科 突沖 貴宏

東京医科大学病院 形成外科 綾部 奈々子
神鋼記念病院 乳腺外科 山神 和彦
京都大学医学部附属病院 乳腺外科 高田 正泰
がん研究会有明病院 乳腺外科 植弘 奈津恵
京都市立病院 乳腺外科 末次 弘実

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、
以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることは
ありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604

担当: 乳腺外科 荻谷 朗子